

桜のある水辺風景2014



応募写真集



JRRN
Japan River Restoration Network

日本河川・流域再生ネットワーク



はじめに

今年も沢山の桜の写真をお送りいただきました。ありがとうございます。桜は見て楽しく、またこのように写真を撮って楽しむのもいいですね。皆さんがお送り下さった写真も素晴らしいのですが、これらの写真を写している皆さんの情景を思い浮かべるのもまた、楽しみです。

写真の出来栄を支える努力が目に見えます。ちょっと危ない場所で身を乗り出していたのではないだろうか、誰と一緒にいたのだろうか、本当は沢山の人がいたのに、人波が途絶えるのを待ってから撮影したのかななどと、想像たくましくして写真を楽しませていただきました。

写真と同じように桜の情景を写したものに和歌があります。これも一首一首、桜の情景とそれ以上に読み人の置かれた立場や状況が思い起こされてしまいます。桜の花は昔から人々の心に、強く訴えてきたのですね。皆さんの写真と合わせて、昔人の桜も楽しみたいと思います。

| | |
|----------------------------------|------------|
| 世の中にたえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし | 在原業平・古今和歌集 |
| いにしへのならのみやこの八重桜 けふ九重にほひぬるかな | 伊勢大輔・詞花和歌集 |
| あをによし ならのみやこは 咲く花の にほふがごとく 今盛りなり | 小野老・万葉集 |

豪華絢爛な桜の様が思い浮かべられますね。いつの時代も桜は人々の心を明るくしてくれたのですね。江戸時代になると桜の名所も増え「飛鳥山」「上野寛永寺」「御殿山」など大変な人ごみになったそうです。時代は変わっても人々が大騒ぎをすると様々な意見も出てきて、吉田兼好は「徒然草」で桜、桜と騒ぐのを取り上げています。本当は兼好は桜見が大好きだったようですが、「花は盛りに 月は隈なきをのみ見るものかは」と、満開の時だけ大騒ぎすることをたしなめています。雲に隠れたからと見捨てず、雲の向こうに満月があると思って見るのが粋人の心ではないかといっています。鎌倉時代から室町時代、京都には地方から人が集まってきて、集団で一番きれいなときを見て酒を飲んで騒いで帰って行くことをやや皮肉っています。

桜は満開ばかりが桜ではない、こんな気持ちも誘うのです。

| | |
|--------------------------------|----------------|
| ひさかたの光のどけき春の日に しづ心なく花の散るらむ | 紀友則・古今和歌集、百人一首 |
| 人知れずもの思ふことはならひにき 花に別れぬ春しなれば | 和泉式部・詞花和歌集 |
| 匂へどもしる人もなき桜花 ただひとり見て哀れとぞ思ふ | 慶政上人・風雅和歌集 |
| 花の色は移りにけりないたづらに わが身世にふるながめせしまに | 小野小町 小倉百人一首 |

華やかさの中に一抹の寂しさを見つけるのは、日本人の心根の深さですね。

| | |
|-----------------------------|--------------|
| 花さそふ嵐の庭の雪ならで ふりゆくものはわが身なりけり | 入道前太政大臣・百人一首 |
| 願はくは花の下にて春死なん そのきさらぎのもち月の頃 | 西行法師・山家集 |
| 散る桜 残る桜も 散る桜 良寛 | |

土屋 信行
日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 代表理事

企画趣旨

JRRN では、水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、2014年に撮影された「桜のある水辺写真」を皆様より募集し、24名の方々より55点の素敵なお写真をご応募頂きました。

- テーマ： 「桜のある水辺風景 2014」 ※2014年に撮影された写真限定
- 作品規定：
 - ・応募はお一人 10 点まで可能です。
 - ・写真サイズはハガキサイズ程度の印刷でも鮮明なレベルとし、デジタル画像サイズは3MB 以内とします。
 - ・個人が特定できる画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。
- 応募期間： 平成 26 年 3 月 3 日 ~ 平成 26 年 5 月 31 日

本冊子では、ご応募頂きました皆様のお写真を、桜前線とともに南（熊本）から北（北海道）の水辺の順に、頂きましたコメントと共にご紹介させて頂きます。また、今年は JRRN 会員皆様へのアンケートにより、応募作品から優秀賞 1 点、佳作 3 点を選考させていただきました。

応募作品

白川・緑川にも春がやってきた！

白川は、熊本市街の中央を貫流する河川です。川沿いに桜を残す河川改修を行っており、春には河川に映る桜を楽しむことができます。

緑川は、藩政時代から灌漑や舟運に利用された河川で、加藤清正の土木遺構も多く残っています。春には、甲佐町の旧堤（二線堤）沿いの桜並木を楽しむことができます。

投稿◎梅崎健史



撮影◎鶴木和博 2014年3月 熊本県熊本市・白川



撮影◎鶴木和博 2014年3月 熊本県上益城郡甲佐町・緑川



撮影◎鶴木和博 2014年3月 熊本県上益城郡甲佐町・緑川

佳作



撮影◎渡部秀之 2014年4月 佐賀県佐賀市・嘉瀬川

嘉瀬川の守り神の桜と、嘉瀬川を泳ぐ鯉のぼり

嘉瀬川が山間部から佐賀平野に出た場所に鎮座する與止日女神社は、川の神、水の神として信仰されています。神社境内脇の嘉瀬川沿いの桜が咲く4月早々から、川上峡と呼ばれる景勝地を、鯉のぼりが川面を彩っています。



撮影◎渡部秀之 2014年4月
佐賀県佐賀市・嘉瀬川

筑後川を渡るJR九州ななつ星を見る特別な場所、特別な時間

桜咲くこの季節、この時間に、JR九州の豪華列車ななつ星が、この橋梁を通ると聞いて、現地に行ったのですが、3月中旬に運行ダイヤが変更になったと知り、がっかりしました。シャッターチャンスは、1年後となりました。保木沈橋では、ななつ星が通るときに、地元の人が多数集まって、歓迎の旗を振ったりして、見送るそうです。



撮影◎渡部秀之 2014年4月 福岡県うきは市・筑後川



撮影◎渡部秀之 2014年4月 福岡県うきは市・筑後川

城原川 仁比山公園

仕事の下見で神崎市憩の家に来て、初めてあの城原川がすぐ下を流れていることを知る。その 1 週間後に来た時は、市議員選挙のさなかで、車からしきりに「安心・安全」と聞こえてきた。流域の皆さんの「安心・安全」の解決策は、子孫と生き物の負担にならないものであってほしいと願う。まして佐賀県は、成富兵庫茂安という水の神様がおられた街であり、きっと良い策が出てくるはずと信じている。仁比山公園の上には、揚水式水力発電所がある。自然の中で大きな違和感なしに、自然エネルギーを利用するシステムは素晴らしいものだと思う。公園の桜と木々は綺麗で、時々リフレッシュに来るつもりだ。できることならここに住みたくなった。

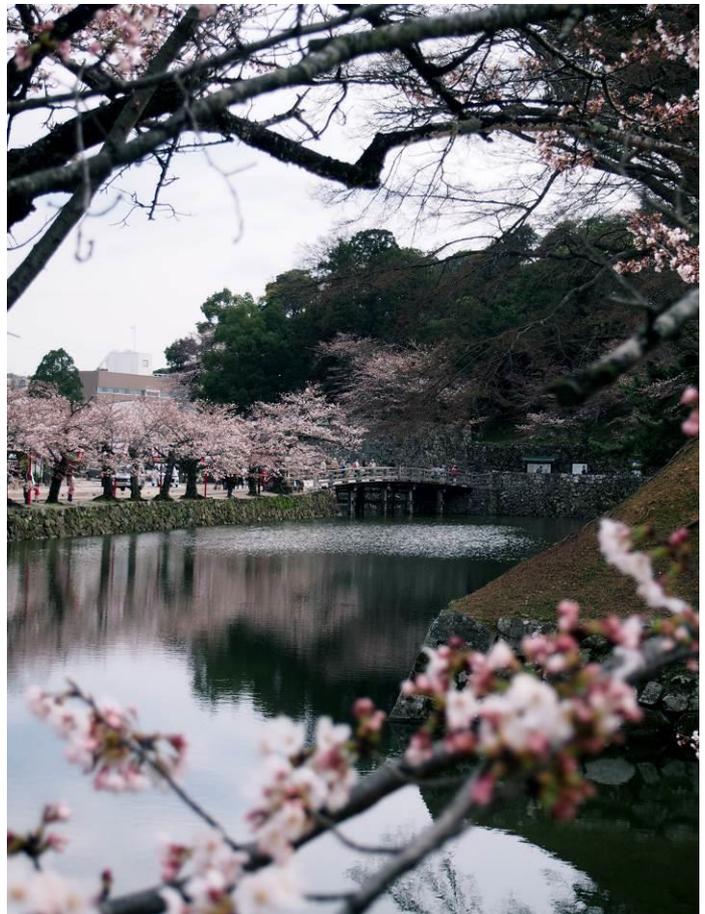
私は、溜池・クリーク・競技場等を創り、通常は生き物の住処等とし、非常時には、あふれた水を貯め河川の氾濫を防ぐようにすればいいのと思うが、責任はとれるのか？と問われると何も言うことができない。



撮影◎別府正俊 2014年4月 佐賀県神崎市・城原川

Cycle

人生の中の始まりと終わりにも、桜にも、サイクルが見えてきました。



撮影◎ラム・ティファニー 2014年4月 滋賀県彦根市・彦根城



撮影◎佐合純造 2014年3月 愛知県名古屋市・山崎川

山崎川の桜満開

昨年までは東京東中野の神田川の桜の常連でしたが、今年から居を移して山崎川の桜に変えました。山崎川は名古屋の桜の名所の1つです。



撮影◎佐合純造 2014年3月 愛知県名古屋市・山崎川



撮影◎佐合純造 2014年3月 愛知県名古屋市・山崎川

—尾張の名城— 名古屋城と桜

名古屋城にはソメイヨシノ・シダレザクラ・カンヒザクラ・オオカンザクラ等の約 10 種類、約 1000 本の桜が咲きます。城内で愛でる桜も綺麗ですが、お堀の水面に映る桜がとても綺麗でした。



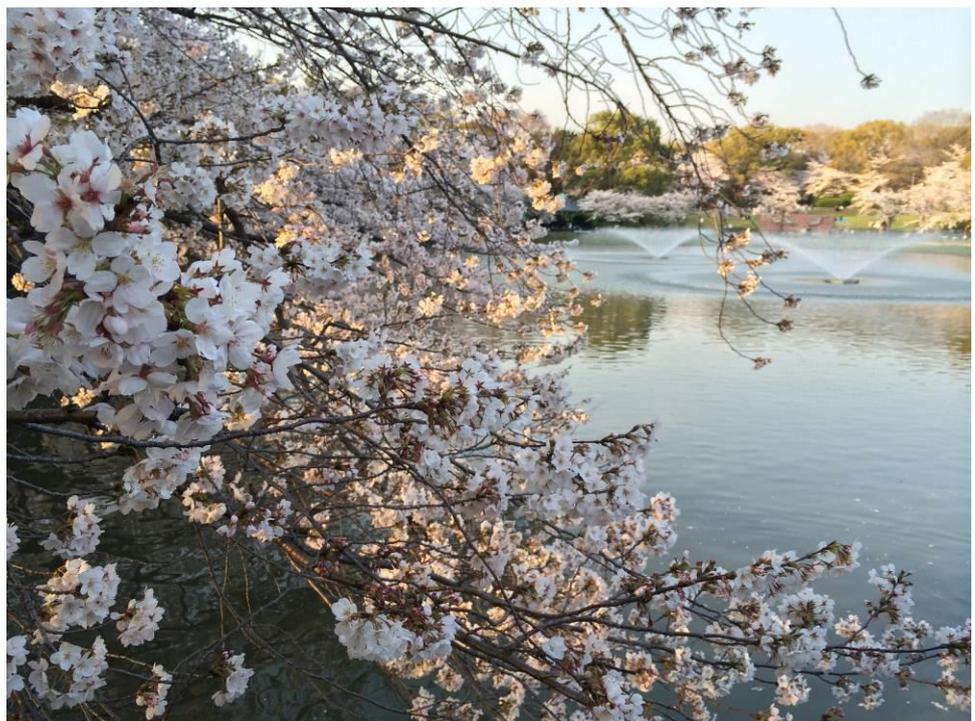
撮影©水野真紀子 2014年4月 愛知県名古屋市・名古屋城



撮影©水野真紀子 2014年4月
愛知県名古屋市・名古屋城

仕事帰りに名古屋城と桜と夕焼けを撮りに出かけました。

名城公園を散策しながら、お花見に出かけました。



撮影©水野真紀子 2014年4月 愛知県名古屋市・名古屋城

佳作

ひと雨ごとに春を呼ぶ桜

名古屋の中心市街地を流れる堀川です。雨が降るとまだ少し肌寒く感じる頃、堀川で最も早く咲く桜（コヒガンザクラ）です。昨年、現在の橋の姿になって100年の誕生日を迎えた納屋橋からの景色です。2本の傘が楽しそうに踊っていました。



撮影◎滝宏志 2014年4月 愛知県名古屋市・堀川

桜色に彩られた堀川の水辺

堀川は名古屋城築城のために徳川家康の命で福島正則によって開削されました。現在、名古屋国際会議場があるこの地は、名古屋城築城のために設けられた材木置場（白鳥貯木場：しろとりちよぼくじょう）があった場所です。木曾の山で伐られた材木は、筏にして木曾川を下ろし、ここに集められました。毎年、桜が堀川の水辺を彩り、多くの市民の憩いの場になっています。



撮影◎滝宏志 2014年4月 愛知県名古屋市・堀川

天白川 桜

天白川の名古屋市植田周辺です。川沿いに桜があるだけでなく、高水敷に緑がありキャンプなどして親子が遊べ、水際にも簡単に降りることが出来ます。

典型的な都市河川の多い名古屋では貴重な場所で、毎年この季節を楽しみにしています。



撮影◎田中五月 2014年4月 愛知県名古屋市・天白川

春は巡り来る

桜が一年の移り変わりを教えてくれます。
人を引きつける、賑わいが桜のいいところです。



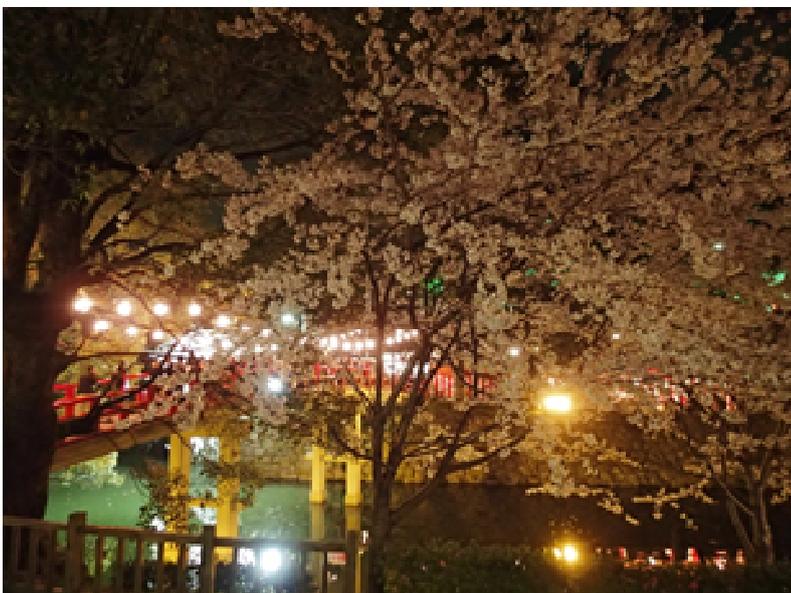
撮影◎土屋信行 2014年4月 愛知県岡崎市・乙川



撮影◎土屋信行 2014年4月 愛知県岡崎市・乙川



撮影◎土屋信行 2014年4月 愛知県岡崎市・乙川



撮影◎土屋信行 2014年4月 愛知県岡崎市・乙川



撮影◎土屋信行 2014年4月 愛知県岡崎市・乙川

春を感じる

春、と聞くだけで心がうきうきしてしまう。それはみんな同じなのではないでしょうか。サクラのもとに老若男女が集まり、それぞれの時間を楽しむ、そんな様子を見て心があたたかくなりました。



撮影◎樋口茉奈 2014年4月 愛知県岡崎市・岡崎公園



撮影◎加藤晴敏 2014年4月 静岡県富士宮市・稲瀬川

優秀賞

富士川支流の稲瀬川の桜堤

明るい日差しに映える堤に植えられたソメイヨシノ。清流沿いに散策や茶会等の催しを楽しむ観光客でにぎわっていました。竹林も多くタケノコが名産です。



撮影◎加藤晴敏 2014年4月 静岡県富士宮市・稲瀬川



撮影◎加藤晴敏 2014年4月 静岡県富士宮市・稲瀬川

興津川中流の山村の吊橋と桜

ひっそりと小さな集落の生活を支える吊り橋のもとに連なる桜。アユ釣りでも知られる興津川の中流です。

撮影◎加藤晴敏 2014年4月
静岡県静岡市・興津川



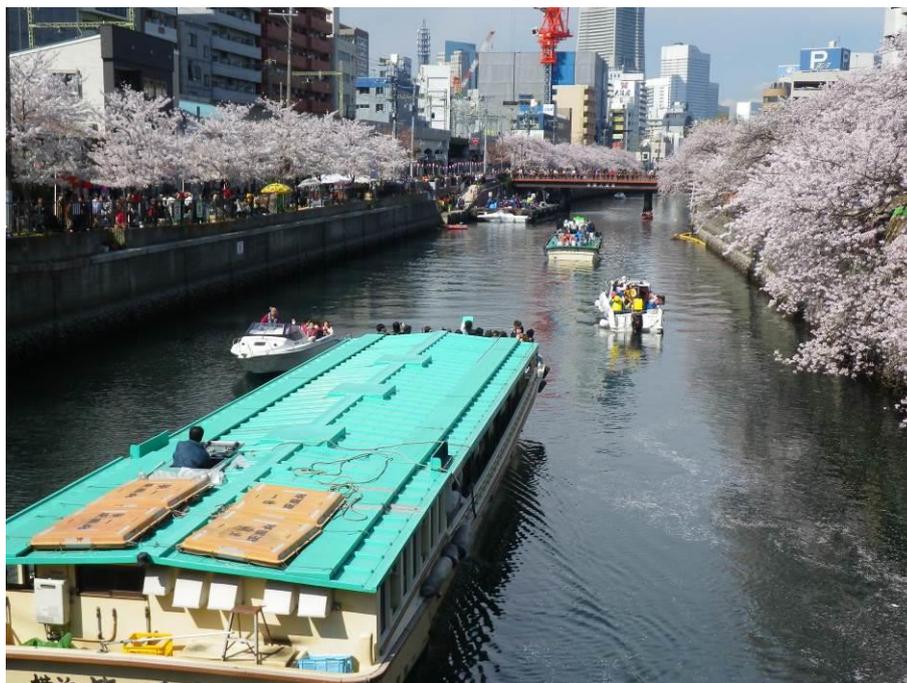
撮影◎加藤晴敏 2014年4月
静岡県静岡市・興津川



撮影◎加藤晴敏 2014年4月 静岡県静岡市・興津川

船からお花見

横浜の桜の名所である大岡川は、毎年、桜まつりが開催され、屋台やイベント、ライトアップなどが行われて、多くの人で賑わいます。年々、水面からお花見する船の数も増え、水辺の賑わいを感じます。



撮影◎高橋達也 2014年4月 神奈川県横浜市・大岡川

佳作

どうやって写真撮ろうか？

子供とお友達を連れて野毛山動物園に行く途中の一枚です。
「わー、きれい。どうやって写真撮る？」と二人で仲良く相談してました。



撮影◎和田彰 2014年4月 神奈川県横浜市・大岡川

洗足流れて見つけた特等席

住宅街を流れるかつての用水路、洗足流れは 20 年ほど前に親水水路として蘇りました。整備された散策路にはサクラ並木が立派に育ち、きれいな花を咲かせていました。そのサクラ並木から少し下流に歩いたところにも 1 本のサクラが咲いていました。川の上に渡された橋は、近所の方の特等席となっていました。



撮影◎木村達司 2014年3月 東京都大田区・洗足流れ

隅田川で見つけた特等席

昨年、隅田川・言問橋下流の右岸堤防に、オープンカフェが誕生しました。はじめてのサクラの季節を迎えた今年3月、隅田川とサクラとスカイツリーを一望しながらカフェを楽しむことができる贅沢な空間となっていました。



撮影◎木村達司 2014年3月 東京都台東区・隅田川



撮影◎佐合純造 2014年4月 東京都千代田区・皇居

皇居お堀の桜と雑踏見学

天皇陛下傘寿記念「皇居通り抜け桜一般公開」をニュースで知って、東京へ出かけた折り、お堀の桜を撮りました。桜は品良くきれいでしたが、見学者や警備の人がいっぱいでした。



撮影◎佐合純造 2014年4月 東京都千代田区・皇居



撮影◎立川周二 2014年4月 東京都世田谷区・野川

世田ヶ谷野川のオオシマザクラ

野川の高水敷に自生したオオシマザクラです。いつの間にか巨木となり、近隣の人々に愛され親しまれています。開花の時期には多くの人々が訪れて、元気な姿を愛で来年の再会を約束して帰ります。このような地域の表徴となった桜ですが、河川敷の樹木は切られるという話ですが、ことあるごとに出て気が休まりません。

船上からお花見

始めて東京の運河の舟めぐりをしたときの写真です。船上からみる桜は目前にダイナミックに広がり、「都会の川の桜もいいなあ」と実感しました。



撮影◎稲葉修一 2014年4月 東京都江東区・大横川



夜桜舟

少しさかりを過ぎた桜だが、今年は潮の関係か、いくぶん遅くまで夜桜を舟で目で見ることが出来た。

水面を行く風が、少しはだ寒いぐらいだったが、たゆたう舟のこちよい揺れを水音にしぼし見とれた。

撮影◎菅田純一 2014年4月 東京都江東区・大横川

さくらに浮かぶ麒麟

日本橋は2011年に100周年を迎えました。橋面の舗装や高欄は見違えるように洗浄され、映画“麒麟の翼”に登場した街灯モニュメントは、橋詰桜を背景に輪郭がくっきりと浮かび上がります。橋の上に架かる首都高速道路は50年たち、その存在を巡り再構築の議論が起こっています。時代を超えて生きる文化財は、以前より古くなるどころか存在感価値はさらに高まることでしょう。



撮影◎岡村幸二 2014年4月 東京都中央区・日本橋川



右岸も左岸も、
そして川面也大賑わい

昼休みに会社を抜け出し、ダッシュで隅田川へ。
心を鬼にして、午後の仕事に戻りました・・・

撮影◎和田彰 2014年4月 東京都台東区・隅田川



撮影◎和田彰 2014年4月 東京都墨田区・隅田川



撮影◎和田彰 2014年4月 東京都台東区・隅田川

春の目黒川はスペシャルです

近所を流れる目黒川。毎年この時期だけ、この川にはたくさんの花見客が訪れます。でも、桜以外の魅力もきっとあるはず。



撮影◎和田彰 2014年4月 東京都品川区・目黒川



撮影◎和田彰 2014年4月 東京都品川区・目黒川



2014年4月 東京都北区・石神井川

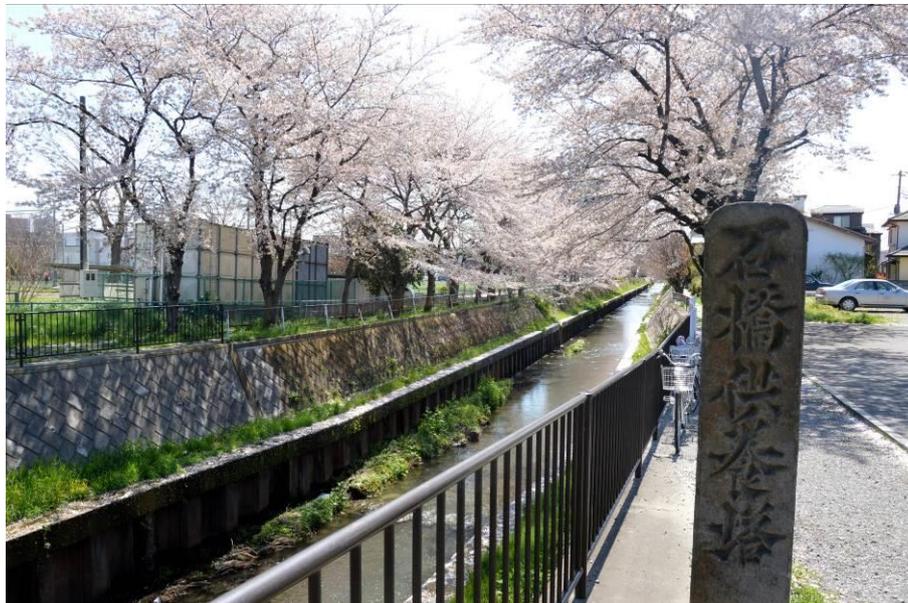
都市河川と桜

なかなか近寄りがたいイメージのある都市河川ですが、桜の季節だけは多くの人々にぎわいます。いいものですね。

武蔵古道赤山街道赤山橋からみる霧敷川

さいたま市では、市民による生物多様性調査の一環として、小学校や市役所などを調査地点とした「みんなの生きもの調査」を実施しています。ボランティア調査員として知り合った地域の仲間で、お花見会をいたしました。場所は我々が担当する調査地点「与野八幡小学校」の脇を流れる霧敷川（鴻沼川）の川辺です。かつてここには石橋がかかっていたなごりとして、享保十一年（1726年）の初夏に建立された「石橋供養塔」が立っています。

この日はまさにお花見日和で、満開から散り始めの頃。風が吹くと花びらが舞い散る桜吹雪を堪能できました。道行く人々も足を止め、しばし桜吹雪に見入っていました。



撮影◎上原 励 2014年4月 埼玉県さいたま市・霧敷川（鴻沼川）

通学路にて

約10年間、通学路として毎日通ってきた六ヶ村用水沿いの道で撮った写真です。晴れた空の下、太陽の光を反射してきらきらと輝く水の流れと満開の桜を眺めながらの通学は何とも贅沢なものであり、年に一度の楽しみです。

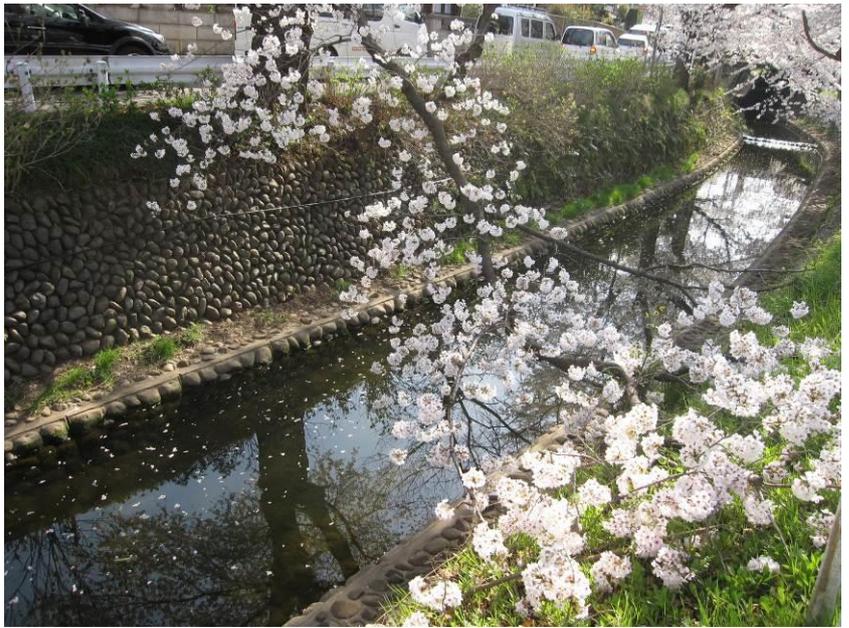


2014年4月 埼玉県川口市・六ヶ村用水

桜の橋がかかってました

埼玉県所沢市を流れる荒川の支川、東川。小さい河川ですが、桜の時期になると、川岸や水面が白、ピンクに淡く彩られ、皆足を停めます。

伸びた桜の枝がまるで白い橋のように川にかかっていたので、思わずカメラを手に取りました。



2014年4月 埼玉県所沢市・東川

いつものお散歩コース。春爛漫。

我が家の近くに春みいーつけたっ！ がううっ！！



2014年4月 埼玉県鴻巣市・元荒川



2014年4月 埼玉県鴻巣市・元荒川



2014年4月 埼玉県鴻巣市・元荒川



撮影◎岡村幸二 2014年4月 福島県福島市・花見山公園

福島に桃源郷あり (雑木林を切り開いた花木農園)

“花見山公園”といっても、実は個人所有の山であることはあまり知られていません。二代目園主阿部一郎氏とその父・伊勢次郎氏が昭和の初めに花木農家として生計を立てようと、雑木林の開墾を始めたのが「花見山公園」の生い立ちです。

さくら

真駒内用水は真駒内川から取水し、エドウィン・ダン記念公園を通して、精進川に注ぐ水路です。現在は用水としての役割はなくなっていますが、水辺の空間としての役割を担っています。今年の北海道は急に暖かくなったので、珍しく連休中に桜が満開となり、落ち着いて花見を楽しむことができました。久しぶりに満開の桜を見た気がします。



2014年5月 北海道札幌市・エドウィン・ダン記念公園



2014年5月 北海道札幌市・真駒内用水

おわりに

2010年からスタートした本企画も今年で5年目を迎え、たくさんの方々より素敵なお写真をご応募頂き、誠にありがとうございました。2014年の桜の開花は、例年並みとは言われていましたが、昨年と比べると遅く、年度が明けてからゆっくりとお花見を楽しまれた方も多かったと思います。それが関係してか、今年はこれまでに最多数のご応募をいただきました。

皆様が撮影した桜の水辺写真を通じ、日本の水辺の魅力を再認識し、更なる河川再生に向けた取組みの後押しとなれば幸いです。

来年(2015年)も本企画を予定しておりますので、皆様から多数のご応募をお待ちしております。

○応募作品のお取扱いについて：

今後、ご応募頂きました写真を、JRRNが発行する「手引き」等の冊子やJRRNウェブサイト等で使用する場合は、使用目的や掲載媒体について予め応募者にご連絡をさせて頂き、撮影者了承の上で使用させて頂きます。

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

「日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)」は、良好な河川の保全・再生が創り出す健全な水循環系及び歴史・文化と共存する地域社会の実現に向け、河川再生について共に考え次の行動へと後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動しています。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

桜のある水辺風景 2014 応募写真集

| | |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行日 | 2014年7月16日 |
| 発行 | 日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN) |
| 事務局 (連絡先) | 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階 公益財団法人リバーフロント研究所内 Tel: 03-6228-3862 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net , URL: http://www.a-rr.net/jp/ Facebook: https://www.facebook.com/JapanRRN |

JRRN事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。





日本河川・流域再生ネットワーク